

「きれいにしよう！学校クリーンさくせん」

北海道札幌市立南月寒小学校

実施学年：6年
 生徒数：87人（3学級）
 実施教科：家庭科
 実施時間数：5時間



掃除の工夫をして実践する。



後輩のためにお掃除レシピ作成。



教室の汚れを収集し、場所による比較をする。



ふき掃除に着目し、水ぶきとからぶきの違いを調べる。



お掃除レシピを見る2年生。

学習のねらい

- ・身の回りのよごれに関心をもち、気持ちよく過ごそうとしている。（家庭生活への関心・意欲・態度）
- ・汚れ方や場に合う掃除の仕方を工夫している。（生活を創意工夫する能力）
- ・汚れ方や場に合う掃除をすることができる。（生活の技能）
- ・汚れ方や場に合う掃除の仕方が分かる。（家庭生活についての知識・理解）

学習活動

- 第1次 身の回りの汚れを調べてみよう（1時間）
- ・教室の汚れを調べ、よごれに合った掃除の仕方を考える *清掃時間で実践する
- 第2次 掃除をしてきれいにしよう（3時間）
- ・拭き掃除に着目し、水ぶきとからぶきの違いを調べる。
 - ・掃除を実行する。 *家庭で実践する
 - ・場に合った掃除の工夫を交流する。
- 第3次 トライ！エコ生活（1時間）
- ・不用品やごみの行方を調べる
 - *「感謝の気持ちを伝えよう」で学習したことを生かして卒業の奉仕活動へ後輩のために「お掃除レシピ」を作成する。

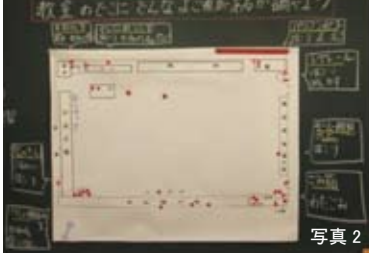


準備品

- ・教室 ・家庭科室 ・自宅（家庭学習）

実施場所

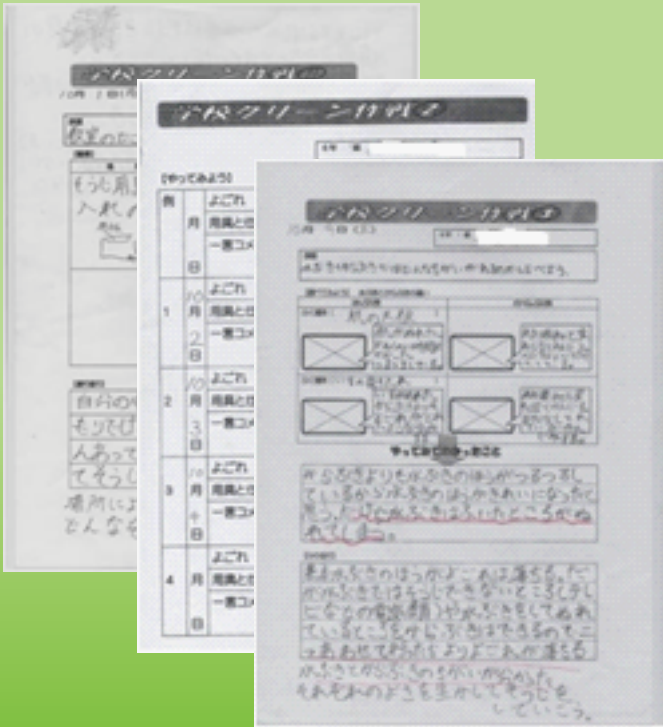
- ・透明テープ ・教室マップ ・雑巾（1人2枚） ・学習シート ・画用紙

学習の流れ

場所・授業数	概要	活動の様子	反応
<p>教室</p> <p>1 時間</p>	<p>掃除の必要性について考えよう</p> <p>1 教室にどんなよごれがあるかを調べ、汚れマップを作成する。</p> <p>2 汚れマップから、なぜそこが汚れるのかを交流する。</p> <p>3 教室をきれいにするために工夫を掃除の仕方と用具について考える。</p>	 <p>写真 1</p>  <p>写真 2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・セロテープを使い教室で一番汚れていると思う場所を見つける。(写真1) ・作成した汚れマップから場所によってよごれの種類が違うことがわかる。(写真2)
<p>校舎内</p> <p>1 時間</p>	<p>掃除をしてきれいになろう</p> <p>1 課題をもってよごれに合った掃除の仕方を実践する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・汚れは場所によって汚れ方が違うから、用具の使い方を工夫していく。
<p>教室</p> <p>2 時間</p>	<p>2 水ぶきとからぶきではどんな違いがあるかしらべてみる。新しい雑巾を2枚持ち、水ぶきとからぶきの比較実験を行う。</p> <p>3 今までの学習を生かして学校や自分の家をきれいにしていく</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・水ぶきの方が汚れが落ちることを実験で検証し「本当に水ぶきだけ？」と生活を振り返る ・汚れによって水ぶきとからぶきの使い分けする。
<p>教室</p> <p>1 時間</p>	<p>トライ・エコ生活</p> <p>1 ごみを減らす工夫について考え、掃除の方法とごみの始末や不用品の活用について理解する。</p> <p>2 卒業の奉仕活動に生かす計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 奉仕活動実践 * お掃除レシピ作成 		<ul style="list-style-type: none"> ・掃除は快適に過ごす一歩ということを実感した。 ・自分たちが学習したことを後輩たちに伝えるために「おそうじレシピ」を作成し学習のまとめとした。

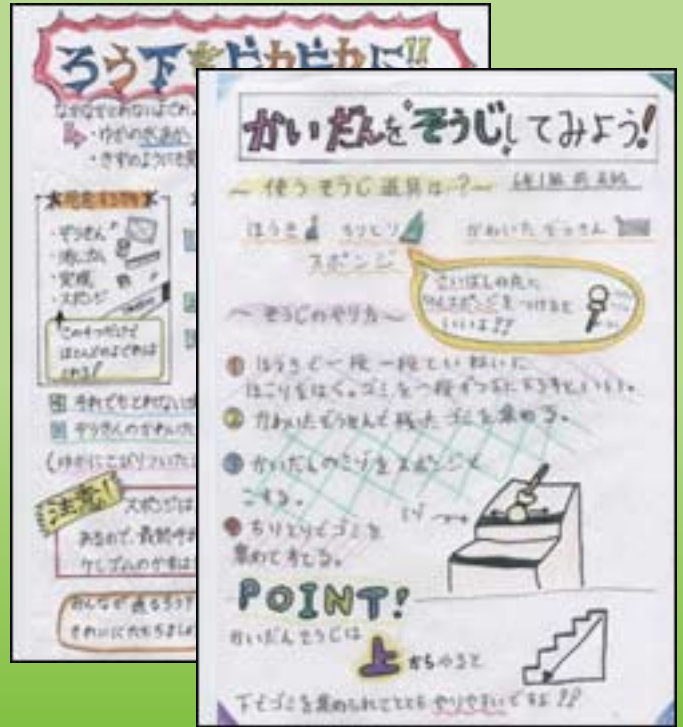
生徒の作品

学習カード



《感想》水ぶきとからぶきのよさがわかり、掃除の幅が広がったよ

おそうじレシピ



《メッセージ》この方法はどの特別教室でも使えます。どんどん学校をきれいにしてください。

先生の声

実施に当たり工夫した点 苦労した点

- 児童の実態を把握しどのようなことを学びたいかを取り上げた学習指導計画を立てた。
- 掃除は子どもたちの興味・関心の継続が難しい。そこで「よごれが気になる場所」→「どうしたらきれいになるのか」を考えさせた。「こうしたら汚れが落ちるになる」→「汚れがおちて気持ちいい」という感動体験の場面を設け、学習の動機付けを図った。
- 第2時の清掃の学習では、「ふき掃除」に着目し、水ぶきとからぶきの効用に気付かせるために、1人2枚新しい雑巾を持たせ活動させた。
- 子どもたちの実践を「おそうじレシピ」にまとめ、清掃個所に掲示し、他の学年の子どもたちが利用できるようにした。

児童・生徒の反応

- 初めは調理実習やミシン学習の様な製作活動と比べると学習展開のイメージが難しかった。しかし、学級の汚れさがしを始めていくうちに活動に熱中して、汚れの種類や場所に着目し、たくさんの気づきを発表した。
- 「水ぶき」と「からぶき」の対比実験では、自分の予想を立て、活動していった。
- 学期末大掃除や卒業前の奉仕活動では、実践を生かし計画を立てることができた。また、実践を後輩たちに伝えるために「おそうじレシピ」をつくる意見が出され、作成した。意欲の高まりを感じた。

教師の変化 (担当、担当外を含めて)

- 子どもたちが、汚れを取り除き、きれいになっていくことに自分なりの工夫をしていく姿に感動した。
- 自分たちが学習したことを後輩のために活かしていくという考えで作成した「おそうじレシピ」は、子どもが実践化を身に付けていったことを肌で感じた。